

RESOURCE CENTER

Bitwarden 認証のエンタープライズ・リファレンス・ガイド

Bitwardenの認証およびSSOサービスに関する重要な機能の概要

Get the full interactive view at
<https://bitwarden.com/ja-jp/resources/reference-guide-bitwarden-authentication/>

認証タイプ	それは何ですか？	配備に関する考慮事項 すべての認証導入フェーズ ゼロレッジ暗号化
信頼できるデバイスによるSSO	<p>それは何ですか？</p> <p>パスワード不要のエクスペリエンスでは、従業員はSSO認証情報を使って認証と復号化をワンステップで行う。登録され、信頼されたデバイスは、保管庫を解読し、新しいデバイスを確認し、受け入れることができる。一度信頼されたデバイスは、再度承認される必要はない。</p>	<p>このオプションを選択すると、従業員は信頼できるデバイスを使用して保管庫を復号化でき、ログインを確認し、</p> <p>アカウント作成時に信頼できるデバイスを使用してログインクライアントデータを保管庫を復号化し、</p> <p>BitwardenのデスクトップまたはBitwardenの信頼できるデバイスを使用して、</p> <p>各信頼デバイスは、信頼できるデバイスのエンドツーエンドの暗号化を維持し、</p> <p>その他のリソース</p> <p>信頼できるデバイス</p> <p>エンタープライズ環境での導入は、従業員の生産性とコストを最適化します。</p>
SSOでログイン	<p>ユーザー認証は、Bitwarden データ保管庫にユーザーを認証するために企業の ID プロバイダを活用し、保管庫データの復号化のためにマスターパスワードを使用することで、保管庫の復号化から分離されます。</p>	<p>このオプションは、信頼できるデバイスをサポートし、</p> <p>このオプションを選択すると、従業員はSSOを使用してマスターパスワードを記憶し、企業の重要な認証情報にアクセスし、</p> <p>その他のリソース</p> <p>SSOログインを使用</p> <p>SSOによるログイン</p>

認証タイプ	それは何ですか？	配備に関する考慮事項 すべての認証導入フェーズ ゼロナレッジ暗号化
SSOと顧客管理による暗号化ログイン	従業員はSSO認証情報を使用して、認証と復号化をワンステップで行う。このオプションは、ユーザーのマスター・パスワードの保持を企業に移行するもので、ユーザー・キーを保管するキー・コネクタを導入する必要がある。	Bitwardenは、SSO認証と復号化をオンプレミスで、顧客が管理する暗号化キーを使用して行う。 このシナリオでは、そのためには、暗号化されたマスター・パスワードとそれらの鍵を暗号化して保存する必要がある。 このアプローチでは、暗号化されたマスター・パスワードと復号化キーがどの時点で使用されるかを管理する必要がある。 暗号鍵の管理は非常に重要であり、これを管理しているチームがBitwardenをセルフサービスで導入し、お客様が管理する暗号化されたマスター・パスワードとそれらの鍵を暗号化して保存する必要がある。 その他のリソース ホワイトペーパーSSOと顧客管理による暗号化 ヘルプ記事SSOと顧客管理による暗号化 - キー・コネクタ
ログイン	従業員は電子メールとマスターパスワードを使ってログインし、Bitwardenの保管庫を復号化します。	Bitwarden でログインする従業員は固有の電子メールとマスターパスワードを使用して認証を一元管理して行う。 管理者は、組織や共有のマスターパスワードをDirectory Connectを使用して管理する。 その他のリソース パスワード管理の5つの方法 ビットワーデンを始める

認証タイプ

それは何ですか？

デバイスでログイン

従業員は電子メールを使ってログインし、承認時にデータ保管庫の暗号鍵を安全に共有する 2 つ目の認証済みデバイス（モバイルアプリまたはデスクトップアプリ）からログインを確認します。

配備に関する考慮事項
すべての認証導入
ゼロナレッジ暗号化

デバイスを使った
電子メールとマスター
すべての従業員が
従業員はモバイルま
すべてのBitwarden

その他のリソース

[ヘルプ記事デバイス](#)